

令和8年度

川島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○学ぶ喜びを実感し、自ら学び続ける力を身に付けた子どもの育成
－自ら学び、発信し、互いを高め合う教師集団－

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

全教職員による参観授業や実践報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○基礎的・基本的な学習課題に対し、多くの児童が積極的に取り組み、学習内容を習得しようと努力している。</p> <p>●学習規律は定着しつつあるが、学習準備や正しい発言・発表の仕方が不十分な児童がいる。</p> <p>●語彙が乏しく伝えたいことを相手に伝えるために、適切な場面で適切な言葉を使い表現することが難しい児童もいる。</p>	<p>・人の話を最後までしっかりと聞き、学習内容を習得しようと取り組むことができる。</p> <p>・正しい発言・発表の仕方を身に付け、学んでいる。</p> <p>・適切な場面で、適切な言葉が使えるように、言葉の大切さを理解し、多くの語彙を身に付けることができる。</p>	<p>・川島つ子チャレンジプロジェクト(SWPBS)の取組を継続し、話を聞く態度を定着させる。</p> <p>・川島小学校のユニバーサルデザイン(学習規律)の徹底を継続し、学習準備や発言・発表の仕方等について定着を図る。</p> <p>・教科書の巻末資料を活用したり、辞書引きを充実させたりして、語彙を増やす。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○自分の考えを書き、学習のまとめができる児童が増えてきた。ペア学習やグループ活動、1人1台端末の活用などの場面では、自分の考えを適切に表現する児童も増えてきている。</p> <p>●課題に対応した学習のまとめをしたり、根拠を元に考えを表現したりすることが苦手な児童が多い。</p>	<p>・課題や問われていることに対して、自分の考えをノートやワークシートに書き、学習のまとめをすることができる。</p> <p>・友達の考えや意見を聞き、自分の考えと比べたり、関連付けたりして、適切に自分の考えを表現することができる。</p>	<p>・ノートに書く基本形[めあて、学習内容(自分の考え)、振り返り]をもとにしたノート指導を継続し自分の考えをまとめる力の定着を図る。</p> <p>・学習形態を工夫し、ペア学習やグループ学習、1人1台端末等を活用して、考えや意見を深め合う場面を増やす。その際、自分の考えや根拠を示して表現できる機会を増やす。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○与えられた課題に真面目に取り組む自分の考えを発言できる児童が増えてきている。</p> <p>●授業で自分の意見や考えを発信したり、他者の意見を取り入れて考えを深めたりすることが、苦手な児童が多い。</p> <p>●自ら進んで読書をする児童が少ない。</p>	<p>・自ら課題をもち、課題解決をしようとしている。</p> <p>・自他の考えのよさを見付け、自分の思いや考えを深めようとしている。</p> <p>・望ましい読書習慣を身に付け、進んで読書しようとしている。</p>	<p>・自主学習や1人1台端末を使った学習を通して、具体的な課題設定のヒントを与えることで、児童自ら課題を明らかにし、主体的に解決しようとする態度を身に付けさせる。</p> <p>・自他の見方・考え方のよさを見付け自分の思いや考えを深めるために、1人1台端末やホワイトボード等の活用方法を工夫改善し、有効な活用を図る。</p> <p>・図書委員会のイベントを活用し、読書習慣を身に付ける機会を充実させる。また、市立図書館との連携も引き続き行い、さまざまなジャンルの図書にてあえる機会を増やす等、読書環境を整える。</p>			